

庄司 紘八

平政・公明党

### 平成29年度当初予算編成

【質】 財政調整基金は前年度より約8億7千万円ふえ、約55億8千万円となり、一般会計関係の基金残額は約107億円で、このような財政状況が良好なうちに、課題解決のために積極的な施策の展開を。

【答】 「能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられる施策の着実な実施とともに、市民の健康づくりや市民サービスの質の向上につながる施策に取り組みため、予算を編成するよう指示している。将来世代に過度の負担を先送りすることなく、持続可能な財政運営ができるような予算編成を行いたい。

### 東能代駅自由通路等の整備

【質】 東能代駅はJR東日本秋田支社管内に4駅ある重要拠点駅の1つで、東能代駅以外は全て自由通路が完備され、駐車場等を確保している。秋田県・JR・能代市が対等な立場で、実現に向けての話し合いを。

【答】 東能代駅は、土地利用に大きな変化が見られた際には、具体的な検討が考えられるが、現状では、駐車場の整備も含め、難しい。駅周辺の整備には、秋田県及びJR東日本が大きくかかわるので、御提案の事業に対する考え方等について、意見交換をしたい。

#### その他の質問事項

- 能代市総合体育館駐車場整備を
- 歴史民俗資料館と美術展示館整備
- 能代市の財産「風の松原」利活用

菊地 時子

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

### 公共交通戦略

【質】 高齢者の事故がふえ、安心して運転から卒業できる環境づくりが大事。高齢化が進む中で、交通弱者の割合も大きくなっており、公共交通の役割は増している。戦略のこれまでの成果と今後の見直しは。

【答】 巡回バス及びデマンド型乗合タクシーの運行に取り組み、一定の成果は得られたと考える。地域の現状にあった公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的とした、「地域公共交通網形成計画」への移行を見据え、より利便性の高い公共交通体系を構築する検討を深めたい。

### 誰もが集える地域の拠点

【質】 公民館は、地域住民にとって身近な学習拠点だけでなく交流の場として重要な役割を果たしている。備品は足りているか、誰もが集えるようになっていくか、住民や利用者の要望を把握し、改善検討を。

【答】 備品は、利用者の声や各館長からの報告等をもとに、不足しているものや更新が必要なものの購入に努めている。要望の把握は、自主学習グループの登録時にアンケートを実施しているほか、随時施設職員による聞き取りを行っている。今後も地区公民館で必要な備品は、年次計画により更新していきたい。

#### その他の質問事項

- 障がい者施策

佐藤 智一

希望

### 小・中学校で抜き打ち避難訓練を

【質】 防災教育の先進校では「落ちてこない、倒れてこない」を合言葉に、給食配膳中や登下校時などにも避難訓練が実施されている。自分の命は自分で守れるよう当市でも導入の考えは。

【答】 抜き打ち避難訓練は、東日本大震災等をきっかけに始めた学校もあり、平成28年度に実施または実施予定の小学校が5校、中学校が1校となっている。抜き打ち避難訓練の実施については効果があると考えているので、先進事例を紹介し、実施の拡充に努めたい。

### ふるさと納税拡大のため専属部署設置を

【質】 寄附額全国2位の焼津市では自主財源の確保を第一とするのではなく地域の産業振興を目的としている。同様にふるさと納税に特化した専属部署を設け、取り組みを強化してはどうか。

【答】 ふるさと納税は企画部総合政策課で対応しており、業務量が多いものの、事業を滞りなく推進しており、現段階で、新たな部署の設置は想定していない。ただ、今後も取り組みの充実を図ることとしており、適切な対応ができるよう、業務体制についても検討したい。

#### その他の質問事項

- 常測火山となる十和田火山の影響
- 指定管理者の報告等調査のあり方
- 議員等問い合わせ記録の整備公開